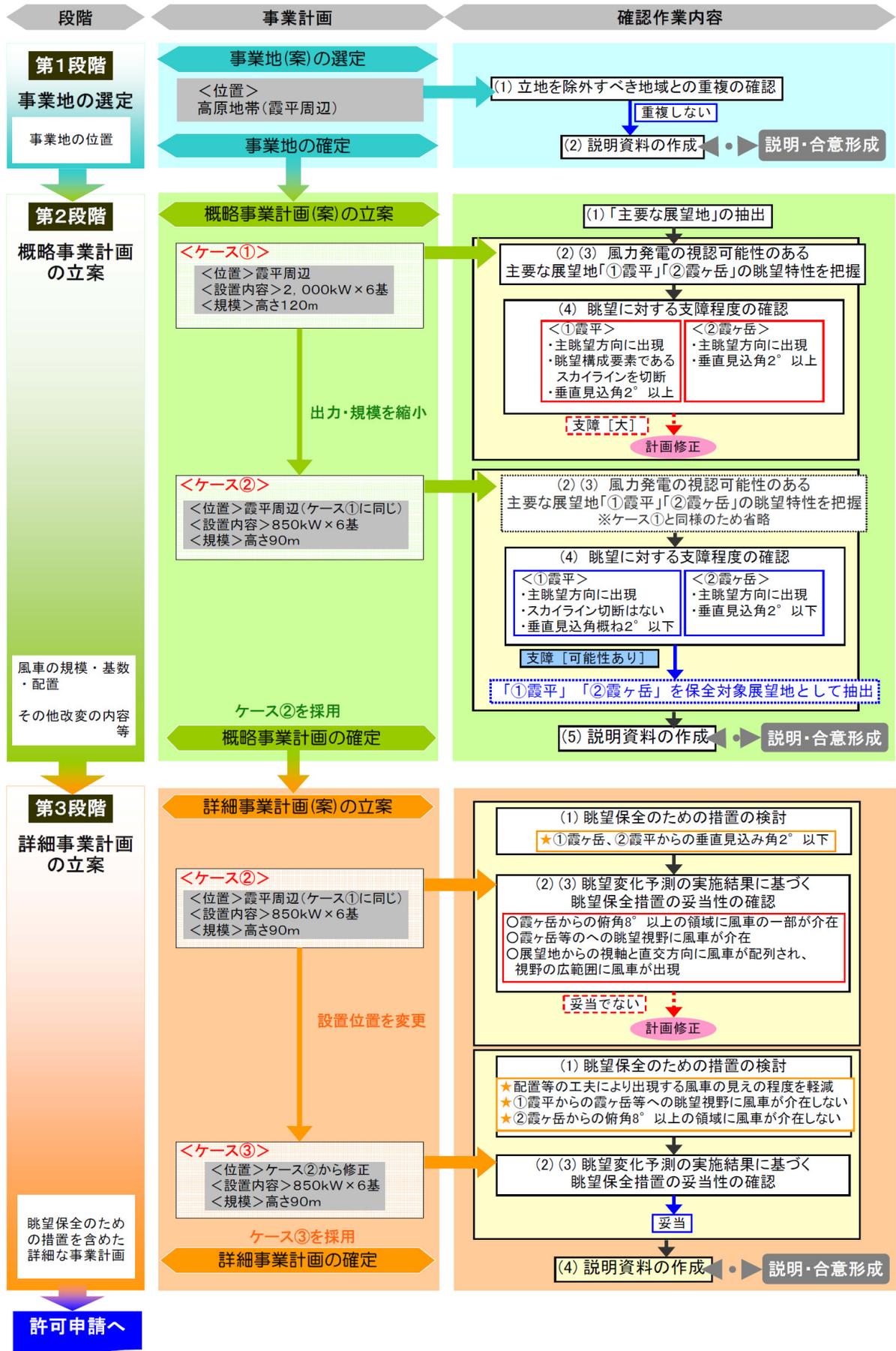


2.高原地帯

・高原地帯において、以下の手順でケーススタディを実施した。実施結果を以降に示す。



第1段階 事業地の選定

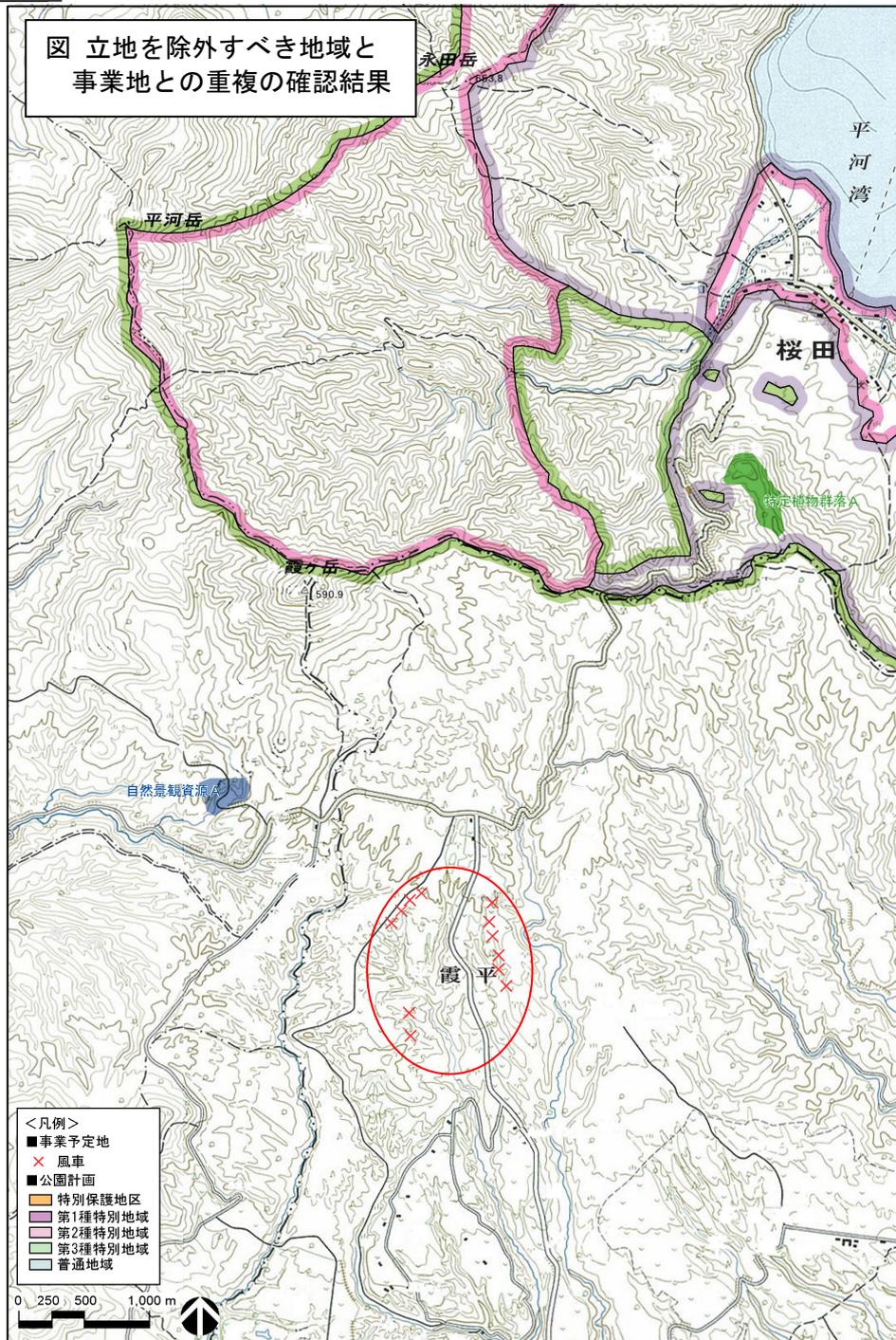
(1) 立地を除外すべき地域との重複の確認

作業解説

- ・事業地として、仮想国立公園内 霞平付近の地点を選定した。
- ・国立公園の公園計画図や特定植物群落等の分布と重ね合わせた結果、事業地は風力発電施設の立地を除外すべき地域を回避していることを確認した。

⇒確認結果について関係主体との合意性を図った上で、「第2段階：概略事業計画の立案」へ進む。

作業結果



第2段階 概略事業計画の立案

(1) 「主要な展望地」の抽出と眺望特性の把握

作業解説

- ・「主要な展望地」として、公園計画書や管理計画書、その他の展望利用の状況から、以下の図表に示す公園利用施設を抽出した。

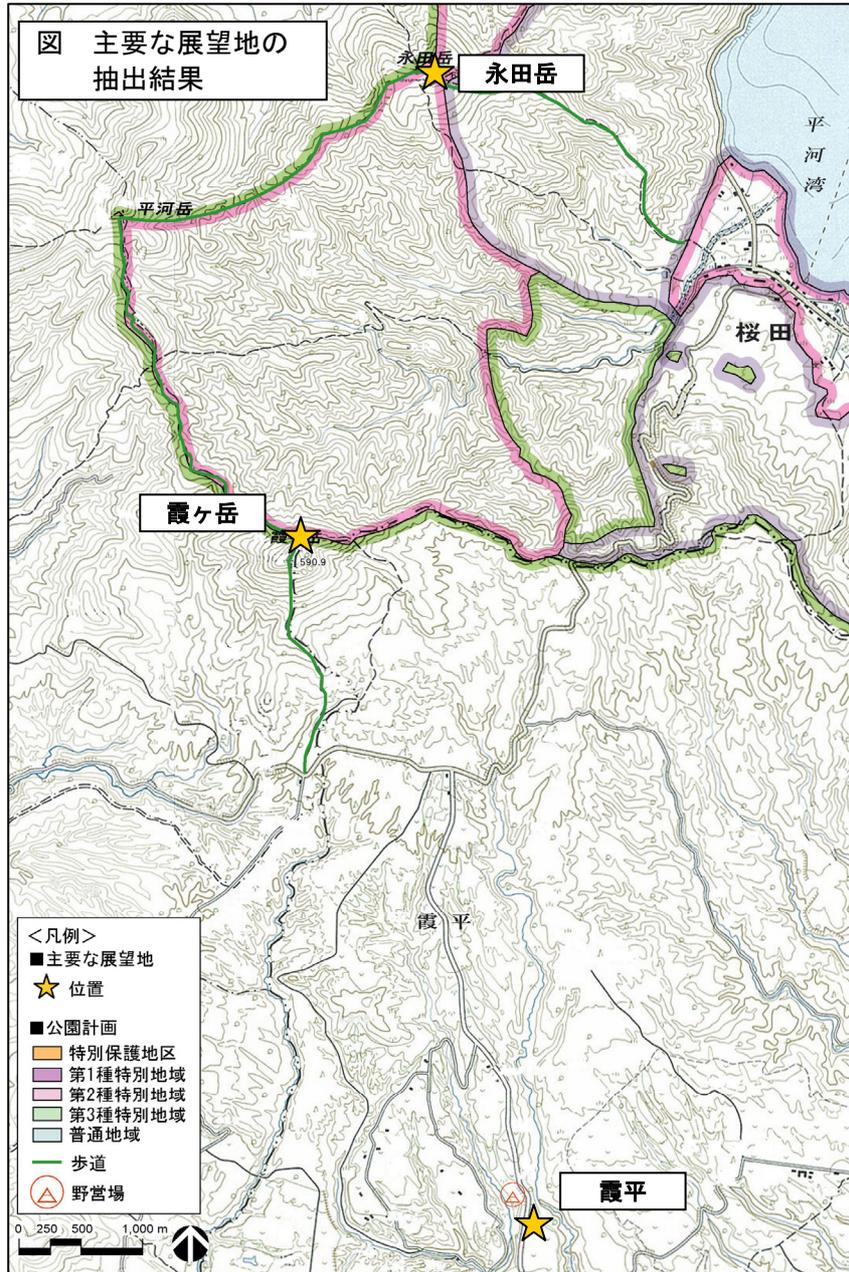


表 主要な展望地リスト

番号	名称	距離(m)	公園計画 利用施設	抽出の観点		
				公園計画*1	管理計画*2	その他展望利用
①	霞平	2,475	単独施設(野営場)	○	○	—
②	霞ヶ岳	2,475	歩道霞ヶ岳線	—	○	山頂
③	永田岳	5,940	歩道霞ヶ岳線	—	○	山頂

*1：公園計画において、「眺望利用」「風景観賞」がうたわれているものに○

*2：管理計画において、「主要な展望地」として保全方針が記載されているものに○